

**平成 31 年度
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
事業計画書**



社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の基本理念（ビジョン）

だれもが心の豊かさと幸せを実感できる
「福祉のまち奥州市」をめざして

新たな福祉のまちづくりにあたっては、だれもが「この地域に住み続けたい」願いをかなえるため、市民一人ひとりのふれあい、ささえあい、たすけあい、わかちあい、かたりあいの輪をひろげ、みんなが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をつくります。

1. 市民の福祉に対する願いに応え、「みんなと交わる」ことを大切にしながら、親しみに満ちた福祉活動をめざします。
2. 市民の福祉に対する関心を高め、「みんなとともに楽しむ」ことを大切にしながら、市民参加による福祉活動をめざします。
3. 市民の福祉に対する理解を深め、「みんなのために役立つ」ことを大切にしながら、よりよい自立に向けた福祉活動をめざします。
4. 市民の福祉にかかわる活動をしている人たちと手を結び、「みんなのための福祉」のあるべき姿を考え、市民の信頼に応える福祉活動をめざします。



奥州市社会福祉協議会イメージキャラクター
奥州社協フレアイガー

平成17年10月12日制定

平成 31 年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会事業計画

1 基本方針

地域共生社会の実現に向けて、改正社会福祉法が平成 30 年 4 月に施行されました。

このことにより、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域の様々な生活課題を地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがいや地域をともに創っていく社会づくりがすすめられています。

地域福祉を推進するために「奥州市地域福祉活動計画」の見直しを行い、①住民の主体的な生活課題解決の仕組みづくり②複合的な生活課題を抱える生活困窮者の包括的な相談支援体制づくり③認知症など判断能力に不安がある方の金銭管理など行う市民後見の育成や支援活動について、奥州市が策定した地域福祉計画と連動し、重点目標に位置づけいたしました。この計画の着実な実現のため住民主体の地域課題解決や地域に出向いて生活課題と向き合う「専門職」（コミュニティソーシャルワーカー等）の活動により、地域支援と個別支援に取り組みます。

放課後児童健全育成事業、保育事業及びファミリーサポートセンター事業等本会が行う子育て事業については、児童の健やかな育ちと保護者の子育て支援の充実を図り、行政や地域と連携をしながら子育て家庭の孤立、虐待等を防止することに努めます。

また、本会が提供する介護サービスについては、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「社協介護事業推進計画」の策定を行い、人材の育成や雇用改善によるサービス向上を図るとともに、さらなる地域の信頼や期待に応えるため、生活困難世帯や介護サービスの不足する地域の支援など、本会の実施する地域福祉サービス事業との連携のもと、引き続き利用者が安心して利用できるよう健全な経営に努めます。

さらに、法人経営においては、事業、組織、財務等の「中期経営計画」策定準備に着手し、実施事業、財政状況の分析等を行い、現在すすめている事務事業を見直し方針を確立し、事業の効率化や合理化を図ります。

市民の福祉に対する信頼や期待に応えるためより一層、福祉サービスの質の向上に努め、市民や関係機関と協働し、地域の互助の力とともに、誰もが安心して暮らし続けることのできる福祉のまちづくりの実現に取り組みます。

2 重点事業

(1) 地域共生社会の実現を重点とする「地域福祉活動計画」の実践

①地域課題を我が事ととらえ住民主体で解決に取り組む地域共生社会づくり②生活困窮など複合的な生活課題を抱える世帯を多機関との協働により包括的に支援する体制づくり③市民後見人等の育成や支援活動を重点として取り組みます。

(2) 住民主体の地域課題解決や地域に出向いて生活課題と向き合うための実践

①サロンや世代間交流などの活動拠点づくり②福祉懇談会や地域セーフティネット会議による小地域福祉活動の推進③見守り体制づくりや福祉コミュニティの形成④地

域の担い手育成などに取り組みます。また、訪問型支援（アウトリーチ）により、制度の狭間にある生活困難世帯等を対象に、住民および関係者と連携して課題解決を図る個別支援と地域支援に取り組みます。

(3) 社協の機能を生かした子育て関係事業の取り組み

放課後児童健全育成事業における放課後児童クラブの適正な運営を行い、米里保育所経営の抜本的な見直しやファミリーサポートセンター事業等、子育て支援の充実に努めます。

(4) 社協経営に関する「中期経営計画」の策定の取り組み

事務事業見直しで提起された課題をもとに、事業経営の理念や目標を明確にし、その実現に向けた事業、組織、財務等に関する具体的な計画策定のための取り組みを行います。

(5) 住み慣れた地域で暮らし続ける社協らしい「社協介護事業推進計画」の策定

経営理念や基本方針の実現に向けた具体的な取り組みを示します。目標を明確化し、それに必要な組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等の計画を策定します。

(6) 重点計画の実現に向けた「事務事業見直し」方針の確立と取り組み

今後策定する社協経営計画及び地域福祉活動計画の実施項目について、中長期的課題を明確にし、事務事業見直し方針に基づき取り組みます。

(7) 福祉サービス向上に向けた雇用改善等働き方改革への取り組み

平成 32 年度以降の国の働き方改革に基づいた雇用改善を図り、全職員の業務に対する意欲向上による福祉サービスの向上をめざします。

3 新規・事業改編等の取り組み

(1) 生活困窮者家計相談支援事業（生活困窮者自立支援）

家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計再生に向けた支援を行います。

(2) 東日本大震災被災者生活支援事業の収束に向けての取り組み

震災から 9 年目を迎えた内陸避難者の生活実態や意識変化の把握、市内災害公営住宅建設による入居者の新たなコミュニティ形成に取り組みます。

(3) 地域セーフティネット会議

地域の福祉関係者の参画により生活課題の発見と要援護者の情報共有、居場所づくりの運営支援を行います。

(4) 地域食堂サロン「ごちそうさま」

コミュニティカフェや高齢者昼食会、子ども食堂など多世代交流サロンの開設を支援します。

(5) 福祉教育の新助成制度

福祉推進校に対する新助成制度により福祉教育の推進を支援します。

平成 31 年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の主な事業内容

1 法人運営

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	三役会議、理事会、監査会、評議員会	本所	会 費 自主財源	6,000	定款に基づき会議を開催し、社会福祉協議会の健全運営と地域福祉活動の推進に向けた取組みを協議し決定します。 *三役会議 会長、副会長、常務理事、事務局長において法人業務執行を行います。 *理事会 法人の業務執行の決定を行います。 *監査会 業務執行状況、法人の財産状況等の監査を行います。 *評議員会 役員の選任及び解任、予算及び事業計画、決算及び事業報告、定款変更等の決議を行います。	
2	部会・委員会等の開催	本所	会 費 自主財源	50	委員会等を設置し、地域福祉事業のありかたや社協事業の検討を行い、必要に応じて専門的な事項について、会長の諮問に対する意見を具申します。 *部会：総務部会、地域福祉部会、在宅福祉部会 *委員会：ボランティア・市民活動センター運営委員会、職員人事委員会等	
3	役員研修・職員研修の実施	本所 各支 所	会 費 自主財源	400	社協の役職員としての使命感を持ち、地域福祉事業を効率的かつ適正に行うために、各職務に必要な専門知識や技術を習得し資質向上を図ります。 *役員研修会の実施 *事業部門別研修及び職務別研修の実施 *外部研修の受講、Off-JT の取組み *資格取得に係る体制の整備 *職場内研修の推進	
4	財務経営管理	本所	-	-	適正かつ効率的な事業運営と財務経営管理に努めます。	
5	福祉サービス苦情解決事業	本所 各支 所	会 費 自主財源	82	本会が提供する福祉サービス等に対する苦情へ適切な対応することにより、苦情の円滑・円満な解決の促進及び本会の信頼並びに確実性の確保を図り、利用者が福祉サービスを適切に利用できるよう支援します。	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<ul style="list-style-type: none"> *第三者委員（6人）を設置 *事業所ごとに苦情受付担当者を設置 *福祉サービス運営適正化推進会議や苦情解決研修の実施 	
6	地域福祉推進協議会や地区振興会及び自治会との協働による事業推進	本所 各支 所	会 費 協賛金	助成金 5,414	振興会等の自治組織との協議・事業推進 <ul style="list-style-type: none"> *地区地域福祉推進協議会の設置 *三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議の開催 *振興会等の自治組織との協議・事業推進 	活動助成金 水沢 1,970 千円 江刺 1,666 千円 前沢 778 千円 胆沢 628 千円 衣川 372 千円
7	共同募金運動への協力	各支 所	-	-	地域福祉活動の重要な財源である共同募金事業との連携協力を図ります。 共同募金運動の必要性を子どもや地域に理解されるよう、魅力のあるプレゼン方法で提案します。 <ul style="list-style-type: none"> *罹災者支援事業 共同募金配分金により、罹災者に対する支援活動に協力します。 *災害支援活動／災害見舞金の交付 	

2 福祉センターの経営（経営2施設・指定管理1施設）

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	総合福祉センターの経営	本所 水沢 胆沢	補助金 利用料 共募配分金	18,740 8,869 6,031 3,840	市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を推進するための活動拠点とします。 <ul style="list-style-type: none"> *奥州市総合福祉センター *胆沢総合福祉センター *奥州市総合福祉センタートイレ改修 	
2	江刺総合コミュニティセンターの経営	江刺	指定管理料	29,185	市の指定管理を受け、ノーマライゼーションの理念の普及と高揚を図り、市民の相互理解と交流の活発化の推進のため、地域福祉の研修や文化活動等を行う拠点とします。 <ul style="list-style-type: none"> *江刺総合コミュニティセンター 	平成30年度から平成34年度まで5年間

3 地域福祉活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	福祉活動推進員設置事業	全市	会 費 自主財源	333	市内の行政区単位に福祉活動推進員を設置し、地域福祉活動を推進します。	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
2	民生委員・児童委員(協議会)との協働活動の推進	全市	会 費 自主財源	323	民生委員・児童委員(協議会)と地域福祉推進のため連携し、調査活動等を協働で行います。	
3	第14回奥州市社会福祉大会の開催	全市	共募配分金	937	社会福祉功労者表彰、特別講演により福祉活動への共通認識と理解を深め福祉意識の醸成を図ります。	
4	広報活動の推進	全市	共募配分金 広告料	1,944	<p>社会福祉協議会広報紙「おうしゅう福祉だより」を発行し、福祉活動の啓発を図り、市民の参画を促進します。</p> <p>企画編集の手法や掲載イラスト等を工夫し、読みやすく分かりやすい内容の広報紙づくりに取り組みます。</p> <p>対象とする世代を絞った内容の広報活動に取り組み、福祉に対する興味を持つきっかけづくりを進めます。</p> <p>SNSを積極的に活用し、タイムリーな情報発信に取り組みます。</p> <p>*市内全世帯 44,500部発行/年間6回 奇数月</p> <p>*支所福祉だよりの発行</p> <p>*パブリシティの活用による広報活動</p> <p>*ホームページによる情報の提供</p> <p>*フェイスブック等での情報提供/随時</p> <p>本会イメージキャラクターのフレアイガーをイベント等で積極的に活用します。</p> <p>民間活動財源の紹介と助成申請事務の支援を行い、既存の建物を福祉活動拠点として整備するほか、異世代間交流の促進を進めていきます。</p>	
5	地域福祉活動計画の推進	全市	共募配分金	254	第2次奥州市地域福祉活動計画(期間28年度から32年度)について、計画の周知、具体的取組みの実施を進めます。	
6	奥州福祉推進市民会議の推進	全市	共募配分金	252	<p>市民及び町内会等の自治組織やボランティア団体等、関係団体や機関が一体となって、地域の福祉課題の確認及び奥州市地域福祉活動計画のモニタリングや評価を行います。</p> <p>福祉団体の情報を共有するため連絡会議を開催し、連携強化を図り、当事者組織の充実と育成を促します。</p>	
7	住民支えあい推進事業	全市	受託金 共募配分金	5,500 6,296	地域の中で支援を必要としている人に対して、近隣の方々やボランティアとともに、自分の住む地域の中で安心して	

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
	①地域セーフティネット会議 ②支えあい事業 「にこにこネット」事業 ③避難行動要支援者台帳整備、緊急連絡カードの配備 ④住民支え愛マップ事業 ⑤ふれあいいきいきサロン事業 ⑥小地域における福祉活動助成				<p>暮らすことのできるような取組みについて個別支援活動とグループ支援活動として進めていきます。そのため、地域福祉活動を実施している団体に助成金を交付し、住民主体の地域づくりを積極的に推進します。</p> <p>また、市民や関係機関との合意形成により、地域ニーズの把握・検討や情報共有の機会である「地域セーフティネット会議」を通して、福祉コミュニティ活性化をめざした事業再編を図ります。</p> <p>①地域セーフティネット会議の推進 ＊地域の福祉関係者による話合いの場として、地域セーフティネット会議（ネット会議）の開催を推進し、地域の課題発見と検討、地域の要援護者の情報共有と見守り支援・発災時の避難所への避難支援、地域の交流の場や居場所づくりの開催もしくは運営支援を行います。</p> <p>②にこにこネット・たすけあい行動プラン事業（個別支援活動） ＊地域の要援護者に対する見守りや安否確認、訪問活動を展開します。福祉活動専門員が中心となり関係者連絡会等の開催支援をしながら、市民相互のささえあい活動を実施します。</p> <p>＊災害時要援護者避難支援計画の個別計画に基づき、災害時には要援護者の迅速な安否確認と支援を行うことを目的に台帳整備を行うと共に、小地域ネットワーク事業と連携した取組みを行います。</p> <p>③避難行動要援護者台帳等整備、緊急連絡カードの配備（個別支援活動） ＊民生児童委員や福祉活動推進員等が連携し、要援護世帯の安否確認と生活支援に必要な情報を整理し、緊急時における支援体制の構築を図り、台帳整備と緊急連絡カードの配備を促進します。</p> <p>④住民支え愛マップ事業 ＊マップ作成を通し、小地域における生活課題を掘り起し、地域の要援護者を再認識し、関わり方や生活課題の解決策などを共通理解しながら、支え合い</p>	行政区数 160 行政区 ネット数 2,500 ネット （現状維持） 避難支援台帳 1,500 枚 （現状維持） 連絡カード配備 3,600 枚（現状維持）

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>の仕組みづくりを構築します。各地域で開催する地域セーフティネット会議や情報交換の場などにおいて、新規作成や更新作業を行うとともにマップの活用を推進します。</p> <p>⑤ふれあいいきいきサロン(グループ支援活動)</p> <p>*地域住民が、会館や集会所などの会場に集いお茶飲み会や交流などを行い、地域生活の生きがいづくりと介護予防を図ります。</p> <p>*コミュニティカフェやひとり暮らし高齢者の会食会、子ども食堂など福祉力強化や多世代が集う交流の場づくりを目的とする地域食堂サロン「ごちそうさま」を推進します。</p> <p>⑥小地域における福祉活動助成</p> <p>*地域福祉活動を推進する団体に、ネットワーク活動やふれあいいきいきサロン活動等の取組みに対する助成金を交付します。</p>	<p>サロン 行政区普及率 93% (現状維持)</p>
8	歳末たすけあい運動配分事業 (激励金給付・地域づくり活動助成)	全市	共募配分金	13,300	<p>歳末たすけあい運動募金により生活困難者への「激励金給付」と、孤立を防ぎ地域の絆を深める「地域づくり活動助成」を行います。</p> <p>*激励金給付 生活困難なひとり暮らし高齢者・高齢者世帯、要介護者等がいる世帯、母子・父子世帯等への支援/災害被災世帯への支援</p> <p>*地域づくり活動助成 高齢者、障がい者等に対する生活支援活動/地域住民が交流するいきいきサロン活動/住民相互で支えあう地域づくり活動/子どもの健全育成を促すための活動/母子父子寡婦や障がい者の福祉団体を活性化するための交流活動等へ助成</p>	
9	安心生活創造推進事業	全市	受託金	8,195	<p>孤立防止のための実態把握とその対応、社会とつながりを持つための居場所づくり、日常生活の見守りやちょっとした困りごと等の生活支援を実施します。</p> <p>①抜け漏れのない実態把握事業</p> <p>*民生委員、地域自治組織等と協働による、住民のくらしや意識、交流活動等について実態調査を行います。</p>	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>*市内 30 地区で住民懇談会を開催し、ニーズを把握します。</p> <p>*若者世代を対象とした意識調査等を行います。</p> <p>*地域とテーマを選定し、住民の意識調査について、岩手県立大学との協働研究に取り組みます。</p> <p>②生活課題の検討・調整</p> <p>*コミュニティソーシャルワークを積極的にすすめるため、社会資源の活用を検討・調整し、福祉活動専門員連絡会議を毎月開催するほか、関係機関を交えたケース検討会・調整会議を随時開催します。</p> <p>*地区振興会との連携により、ワークショップを開催し、各種法改正や住民のニーズに呼応した事業の再編と体制づくりを検討します。</p> <p>③抜け漏れのない支援の実施</p> <p>*ご近所福祉スタッフによる地域での見守り活動の推進と、ボランティア協力店の普及促進による買い物の支援の取組みを行います。</p> <p>*住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」(有償ボランティア)の取組みで、会員登録制による支援の必要な高齢者と障がい者の家事援助や生活援助をお手伝いする取組みを推進し、在宅生活のサポートを強化します。具体的な活動は、調理/洗濯/掃除/買い物/軽易な身の回りの世話/外出介助及び付添い/話し相手など</p> <p>④地域支援活性化事業</p> <p>*福祉活動専門員を配置し、小地域における支援の担い手と連携して支援を実施します。</p> <p>*ボランティア団体と共同で傾聴ボランティアやメイクボランティア養成講座の開催及び施設や地域での訪問活動の実施を支援します。</p> <p>⑤住民参加型まちづくり普及啓発事業</p> <p>*通年での地域福祉活動講座を開催する他、研修会や講演会を開催します。</p> <p>*地域福祉活動の見える化(視覚化)をすすめ、市内で先進的に地域福祉活動に</p>	<p>福祉スタッフ実施 行政区 325 行政区 (1%増) ボランティア協力 店 97 店舗 (現状維持) おねがい会員 84 名 (10%増) まかせて会員 50 名 (10%増) まかせて会員研修 会 4 回/年 活動(支援)件数 2,200 件(現状維 持)</p>

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>取り組む地区の情報提供を行います。</p> <p>⑥自主財源確保事業</p> <p>*自主財源の確保のための取組みを強化します。(共同募金との共同による赤い羽根自動販売機の設置)</p>	設置台数 55台(10%増)
10	ふれあい昼食サービス事業	水沢 前沢 胆沢	会費・協賛金 共募配分金 (水沢)	727 水沢 231 前沢 496 胆沢 0	支部が主体となりひとり暮らし高齢者への会食による昼食サービスを行うことで社会参加の促進を図ります。	
11	東日本大震災被災者生活支援事業	全市	受託金	3,064	<p>東日本大震災内陸避難者の心のケアや孤立防止等のための見守りや相談支援を行います。</p> <p>また、地域住民との交流の機会や見守り、生活支援などの課題を、地域関係者と協働して支援します。</p> <p>*見守り・相談支援</p> <p>日常生活に関する相談支援、安定した生活確保に関する情報提供/ケース検討会/コミュニティづくり/調査等の実施</p> <p>*発災から9年目を迎えた内陸避難者の生活実態や意識の変化を把握し、事業の収束期として、日常生活における自立支援に向けて取り組みます。</p> <p>*市内はもとより、県内各地で開催される被災者支援イベントに参画し、交流活動を支援する他、関係機関とのネットワーク活動により寄り添い型支援を進めます。</p>	調査実施 65名
12	被災者コミュニティ形成支援事業	全市	受託金	3,797	<p>東日本大震災で被災した内陸移住者へ、趣味活動やサークル活動を通じた交流の場を提供し、日常生活における自立支援を進めます。</p> <p>また、災害公営住宅が設置される地域においては、移住者が住み慣れた地域となるよう、地域関係者と情報共有を図り、地域住民との交流や生活の支援などについて、協働により支援します。</p>	
13	金婚を祝う会開催事業	全市	参加費 共募配分金	1,773 水沢 788 江刺 516 前沢 230 胆沢 239 衣川 0	結婚50周年を迎えたご夫婦が参集し、互いに歩んできた道のりを祝福しあい、今後も健康で生きがいのある生活を送り、地域の中で活躍することを願って開催します。各地域福祉推進協議会と近年の参加組数の減少に伴う合同開催の協議も進めます。	水沢 45組 江刺 30組 前沢 10組 胆沢 10組 衣川 3組

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					近年の参加組数減少への対応協議を進めます。	
14	敬老会開催事業	水沢 江刺	補助金 共募配分金	12,652 水沢 7,708 江刺 4,944	敬老精神によるお祝いと、要請に応じて地域で開催する敬老会に支援を行います。 地縁組織と開催対応に向けた検討を進めます。 *敬老会開催/交流/社会参加促進等	出席率 水沢 32% (34) 江刺 41% (45)
15	地域ニーズ対応事業	水沢 前沢	協賛金	419 水沢 250 前沢 169	推進協各支部やNPO、ボランティア団体等が地域特性を活かして地域内の福祉の充実を図る事業の展開を支援します。	
16	高齢者いきいき事業	水沢	参加費 共募配分金	188	高齢者の社会参加と交流の機会の提供、そして生きがいを支援するため回想法を用いた事業を開催します。 研修等の機会を設けて、事業の周知および活動者の拡大を諮ります。	
17	安心カード配備事業	水沢	共募配分	50	ひとり暮らし高齢者等の方々が自分の住む地域で安心して暮らすことができるよう、希望者に安心カードを配布します。なお、支えあい事業「にこにこネット」の対象者と区別し、予防的な取り組みとして実施します。	
18	社会的孤立者の居場所づくり事業	水沢	参加費 共募配分金	156	二ートやひきこもりの若者を対象として、社会参加の足がかりとなる「居場所」を開設し、社会参加のきっかけづくりを支援します。	
19	子ども食堂等支援事業	水沢	参加費 共募配分金	195	「食べる」を介した子どもへの支援を通して、地域づくりにつなげていく取り組みを実施します。	
20	おげんきみまもりシステム	江刺	協賛金	70	ひとり暮らし高齢者宅の電話を用いて健康状態を発信する「いわて“おげんき”みまもりシステム」を活用して、近隣では見守りが困難な世帯の安否確認を行います。 *江刺地域の要援護者を対象に、岩手県社会福祉協議会のICT(情報通信技術)のシステムを用いて毎日の安否確認をします。 *緊急時や必要な生活支援に対応できる地域のささえあい活動につなげていきます	実利用 12人
21	障がい者事業	江刺	共募配分金	9	事業を通じて交流し、相互理解の推進を図ります。 *障がい者の日記念「ふれあい演芸会」事業	参加者 江刺 300人

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					障がい者と健常者が演芸等とともに企画し、交流しながら相互理解を深めるとともに、「障がい者の日」の啓発を図ります。	
22	子どもの遊び場・愛の鐘、点検・整備事業	前沢	共募配分金	164	青少年の健全育成の推進を図ります。 ①共同募金配分により整備した遊び場の遊具の点検と安全確保を図ります。 ②地域との連携で時報チャイム放送機器の維持管理を図ります。	14か所管理 5か所稼働

4 ボランティア活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	ボランティア・市民活動センターの運営	全市	共募配分金 参加費	4,430 15	<p>ボランティア・市民活動センターの機能強化のために職員をボランティアコーディネーターとして専任化し、情報の提供や活動拠点の開設、ボランティア登録事業などを通じて、ボランティア活動の啓発と活性化、ボランティア団体の支援を行います。</p> <p>また、各種講座を開催し、出会い・学び・協働の機会を創出し、共生の文化と人づくりのための基盤整備をすすめます。併せて、福祉教育を推進し、地域の多様な個人・団体と協働して総合的な支援体制を構築します。</p> <p>①講座研修会の開催 *ボランティア研修(福祉学習サポーター)／福祉教育推進セミナー／ボランティアの集い／回想法ボランティア講座／ふくし出前講座など *行政がすすめている協働のまちづくりアカデミーと連携し、福祉教育の一環として地域づくりやボランティアの担い手となり、活躍するリーダーを育成します。(ソーシャルキャンプ、福祉大学等) *地元企業や商店の地域貢献やボランティア活動への参画支援を進めるため、社会貢献活動研究フォーラムを開催します。</p> <p>②調査研究・情報提供 *奥州・ゆいっこ人材名鑑の発刊／民間活動資金の紹介／SNSを積極的に活用したボランティア情報の発信／ボランティアニーズアンケートの実</p>	人材名鑑登録者 80人(20%増)

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					施 ＊ボランティア動画・ボランティアマニュアルの作成 ③相談・援助／コーディネート ＊ボランティアコーディネートの強化に努め登録制度の推進を図ります。 ＊ボランティア保険等の加入促進／各ボランティア団体の活動支援など ＊地元企業や商店の地域貢献やボランティア活動への参画支援を進めるため、社会貢献活動研究フォーラムを開催します。 ④福祉教育の推進 ＊新助成要領及び福祉教育ガイドブックをもとに、市内の小学校・中学校・高等学校等の教育現場における福祉教育を推進します。 ＊福祉推進校による地域住民との交流機会を通じ、コミュニティの活性化とたすけあいを醸成する仕組みづくりを進めます。 ⑤地域の特徴的活動等 水沢ボランティアフェスティバル／テクノボランティア活動／車いすフレンドズ／書き損じはがき等の回収／握手の日・ボランティア週間／夢灯りin 江刺／スターキッズ大作戦／ジュニアスターサマーボランティア／それいけサンタ大作戦・ハッピーサンタ大作戦・ハローサンタ大作戦など地域特性を生かしたボランティア活動を推進します。 ⑥災害被災地や被災者支援 被災地の要請に応じて、災害救援サポーター奥援隊や市民ボランティアの派遣を行います。	ボランティア登録者 56人 (30%増) 福祉推進校 55校
2	除雪支援活動	全市	-	-	高齢者・障がい者等を対象とした冬期間の除雪ボランティア(スノーバスターズ)による生活支援ネットワークを推進します。	
3	ボランティアの集い、福祉まつりの開催	全市	共募配分金	胆沢 191	心のふれあいと安らぎのある福祉地域づくりを目的として、支えあい活動の輪が広がるよう市民みんなの出会いと交流、福祉活動の成果発表の場として開催します。	胆沢 300人
4	ヒロノ福祉パー	江刺	協賛金	181	高齢者から若者、幼児まで、そして障	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
	ク祭 in 夢灯りの開催				がいを持つ人、持たない人などが、安心して暮らせるまちづくりに向けて、ヒロノ福祉パークから市民に向けてメッセージを発信し、共に支えあう地域づくりに貢献することを目的として開催します。	
5	収集ボランティア運動	前沢	共募配分金	47	実行委員会を組織しペットボトルキャップの収集リサイクル支援の運動を展開します。	ボランティア／200人 収集 2.0トン (前年同)

5 福祉サービス利用支援事業

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	権利擁護あんしんセンター	全市	受託(県) 受託金(市) 利用料	8,286 6,000 2,286	<p>成年後見制度や日常生活自立支援事業の対象の権利擁護を必要とする方が、地域で安心して暮らし続けることができるように、一体的・総合的な支援を行います。</p> <p>①法人として成年後見の受任 *成年後見支援員 33人 権利擁護相談員 1人</p> <p>②総合相談会の開催</p> <p>③成年後見制度の啓発と手続きのお手伝い</p> <p>④市民後見人養成の取組み</p> <p>⑤日常生活自立支援事業 *福祉サービス利用支援/日常的金銭管理サービス/通帳書類等預かりサービス/相談・訪問活動 *生活支援員 32人、専門員 2人</p> <p>⑥障がいのある人の不利益な取扱いの相談窓口の開設 (本所・各支所で受付け)</p>	1
2	奥州市・金ケ崎町生活困窮者自立相談支援事業	全市	受託金	37,185	<p>奥州市民及び金ケ崎町民を対象に生活保護にならない為の第2のセーフティネットとして、生活保護受給者以外の現に経済的に困窮し、最低限度の生活維持ができなくなる恐れのある人を対象とし、その自立と尊厳の保持、困窮者支援を通じた地域づくりを目標とする事業であり、メイプル地階に事務所を開設し、対象者に寄り添う伴走型の相談援助に取り組みます。</p> <p>また、家計管理に関する支援、滞納の解消、各種給付制度等の利用に向けた支</p>	(奥州市) ・新規相談受付件数 275件/年 ・プラン作成件数 120件/年 ・家計改善プラン 80件/年(新規)(金ケ崎町) ・新規相談受付件数 27件/年 ・プラン作成件数 12件/年

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					<p>援、債務整理に関する支援を、家計支援計画に基づき総合的に実施する事で収支の改善を図る家計改善支援事業にも取り組みます。</p> <p>奥州市生活困窮者就労準備支援事業、奥州市被保護者就労準備支援事業として、生活困窮者困窮世帯及び生活保護世帯に対し、早期に困窮状態から脱却することを支援するため、本人の状況に応じて、日常生活自立支援、社会生活自立支援若しくは就労自立支援を提供し、一般就労へ結びつく着実な支援体制を構築することに取り組めます。</p> <p>(無料職業紹介所設置運営事業)</p> <p>奥州市内に居住する生活困窮者自立支援法にかかる自立相談支援事業の利用者に対し就業を斡旋するため、厚生労働省の認可を受け、無料職業紹介事業を行い、職業を斡旋することに取り組めます。</p> <p>(フードバンク運営事業)</p> <p>何らかの理由で生活が困窮した状態になり、当面の食料がない世帯に対し、企業及び市民から募った食品を提供することで、生活の基盤となる食のセーフティネットを構築し、自立へ向けた意欲の向上を図ることを目的とするとともに、困った時はお互いさまの気持ちを地域に根付かせ、お互いに支えあう福祉のまちづくりを目指し事業を実施します。</p> <p>(フードドライブ協力事業所募集事業)</p> <p>何らかの理由で生活が困窮した状態になり、食料の確保が困難な世帯等を支援するため、あまった食料品を気軽に持ち寄る拠点を作ることで、フードバンク事業の理解を深めていただくとともに、必要な食料の確保に努めることを目指し取り組みます。</p> <p>(家族食堂事業)</p> <p>様々な理由で困窮している世帯に対し、飲食店経営者の理解を得ながら、食事を提供することで、経済的な支援や社会参加の機会を提供し、自立支援につなげていくことを目指し事業を実施します。</p>	<p>(前年同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計改善プラン 7件/年(新規) (就労準備支援事業) ・新規務対象者数 10件/年 ・就労者 5件 (前年同) <p>有効求職者見込数 5人/年</p> <p>食料提供件数 60件/年</p> <p>拠点協力事業所数 1事業所/年</p> <p>協力店舗数 3件/年</p> <p>協賛団体数 1件/年</p>
3	心配ごと相談の	全市	共同募金	399	*権利擁護あんしんセンターとくらし	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
	開設				<p>安心応援室、資金貸付事業と連動した市民のためのよろず相談窓口を設置し、悩みごと、困りごとの解決援助を行うため相談所の開設をします。</p> <p>水沢＊毎週金曜日 奥州市総合福祉センター</p> <p>江刺＊奇数月第2月曜日 江刺総合コミュニティセンター</p> <p>前沢＊偶数月第3火曜日 前沢健康管理総合センター</p> <p>胆沢＊偶数月第1木曜日 胆沢総合福祉センター</p> <p>衣川＊奇数月第4水曜日 衣川保健福祉センター</p> <p>＊複雑化・複合化してきている世帯問題や社会問題などに関する研修会を開催します。</p> <p>＊相談員間で、ケースに対する意見や情報の交換会を行います。</p> <p>＊相談ケースにより、関係する相談機関との連携を図り対応します。</p>	
4	生活福祉資金貸付事業	全市	受託金	3,768	<p>岩手県社会福祉協議会からの受託であるが、生活困窮者自立相談支援事業との連動を行い、要支援者を対象に、生活福祉資金の貸付による更生援助を行います。</p> <p>＊目的資金の貸付受付及び進達</p> <p>＊世帯の自立支援／実態把握／償還指導</p>	
5	たすけあい資金事業	全市	会 費 寄附金	1,501	<p>生計維持困難な支援者を対象に、生活困窮者自立相談支援事業及び生活福祉資金貸付事業との連動を図り、たすけあい資金の貸付による更生援助を行います。</p> <p>＊小口の生活福祉資金貸付と生活支援</p> <p>＊貸付金5万円まで／無利子</p>	
6	ファミリーサポートセンター事業	全市	受託金	8,460	<p>子育ての支援を受けたい人と、支援を行える人が会員登録をし、有償で相互援助を行います。</p> <p>＊広報による会員の募集</p> <p>＊市民向け講習会の開催</p>	新規提供会員 10 人 内訳 水沢・胆沢 5 人 江刺 3 人 前沢・衣川 5 人
7	福祉団体支援事業	全市	-	-	<p>各種団体機関との連携協働、活動支援をします。</p>	
8	第 61 回岩手県身体障がい者福祉大会奥州大会へ	全市	自主財源	100	<p>奥州市会場で行われる岩手県身体障がい者福祉大会の開催運営に協力します。</p>	

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
	の協力					
9	福祉バス運行事業	全市	受託金	3,907	地域福祉事業の活性化と福祉団体等活動支援のため福祉バスを運行します。	
10	障がい者等地域生活支援事業 ①自発的活動支援事業 ②手話奉仕員養成研修事業 ③移動支援事業 ④日常生活支援事業 ⑤社会参加支援事業	水沢	受託金 参加費	2,271	①障がい者が集う空間づくりや障がい者に対する理解啓発を目的とし、にじの会が実施するゆったりサロンの開催を支援します。 ②聴覚障がい者の日常生活上の基本的なコミュニケーションの支援と交流を図るため、聴覚障がい者等の知識と日常会話に必要な手話表現技術等の習得者を養成します。 ③屋外での移動に困難がある障がい者・児について、外出のための車両移送による移動支援を行い、地域での自立生活と社会参加を促します。 ④当事者のニーズに沿った、生活訓練等を目的とする事業を行い、地域での自立生活を促します。 ⑤障がい者を対象とするスポーツ事業などを行います。また、障がいを持った人の地域生活をサポートするボランティア養成研修・コミュニケーション事業を行います。 *ニュースポーツ教室(ボッチャ等) / スポーツ交流会 *点訳講習会 / 音声訳講習会 / 要約筆記講習会 / カラオケ教室	②受講生 21 人 ④教室 / 3回 参加者 15 人 *参加者 20 人 *参加者各 15 人
11	地域活動支援センター事業 (障がい者デイサービス)	全市 金ケ崎町	受託金 補助金 利用料	3,597	障がい者のためのデイサービス事業を行います。 *カラオケ、編み物などによる機能維持活動、創作活動 *週1日(木) / 定員1日16人	利用者 600人 / 年間 (前年同人数)
12	胆江地区広域交流センターの管理事業	水沢	受託金	17,996	佐倉河仙人地内のごみ焼却熱利用の入浴施設、温水プール、体育施設等の管理運営を行います。 *大人300円 / 子ども100円 / 障がい者割引有 / 月曜日休館	利用者 50,000人 / 年間
13	外出支援サービス事業	前沢 胆沢 衣川	受託金 利用料	4,989	寝たきり高齢者・重度の下肢障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を進めます。 *外出支援に関する今後の運営に向けた検討と協議を進めます。 *運転ボランティアの養成を図ります。	前沢 12人 / 180回 (170回減) 胆沢 15人 / 80回 (30回減) 衣川

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					*交通弱者に対する福祉有償運送を総合的に調査・検討します。	10人/120回 (30回減)
14	屋内ゲートボール場の設置経営 (すぱーく胆沢)	胆沢	補助金 利用料	2,270	ゲートボールを通じ高齢者の生きがい・仲間・健康づくりに寄与し、子どもから高齢者のふれあいの場、生涯スポーツ振興の活動拠点として屋内ゲートボール場を設置経営します。	
15	前沢健康管理センターの申請業務	前沢			前沢健康管理センターの利用者の利便を図るため使用申請窓口業務を行います。	

6 介護保険事業の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	居宅介護支援事業	全市	居宅介護支援介護料 受託金	25,268	介護保険の認定を受けた方のケアプラン作成を行い、介護保険制度を円滑に利用できるようお手伝いを行います。	要介護 125件 1,930千円/月 要支援 406件 175千円/月
2	通所介護事業	全市	居宅介護料 利用料	89,795 30,911 58,884	介護保険の認定を受けた方に対して、デイサービス事業(通所介護・予防通所介護事業)を行います。 *デイサービスセンターだいしの園 定員1日18人 地域密着型 *胆沢デイサービスセンター 定員1日30人	(だいしの園) 要介護 224件 (7件増) 1,794千円/月 要支援 23人 (前年度同人数) 542千円/月 利用料等 238千円/月 (胆沢デイ) 要介護 416件 3,738千円/月 要支援 33人 800千円/月 利用料等 369千円/月
3	元気応援型通所事業	水沢 胆沢 江刺 前沢 の一部	居宅介護料 利用料	6,063	利用者の生活機能の維持向上のため、運動機能向上のトレーニングやレクリエーション活動等を提供します。	要支援・事業対象者 409千円/月 利用料等87千円/月

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
4	訪問介護事業 ヘルパーサービス 「げんき」	全市	居宅介護料 自立支援費 受託金	114,470 介護 82,221 障がい 32,249	介護保険の認定を受けた方、障がい者、要介護認定で自立となった高齢者へホームヘルパーが訪問し、家事支援や身体介護を行い在宅生活を継続的に支援します。	要介護 85人 4,263千円/月 要支援 127人 2,588千円/月 障がい者 94人 2,619千円/月 移動支援 4件 48千円/月
5	小規模多機能型 居宅施設 「あすも」	前沢	居宅介護料 利用料	53,622	利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、「訪問」「通い」と短期間の「宿泊」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の中で生活上の支援や機能訓練を行います。 *定員 24人	要介護 19人 3,700千円/月 要支援 5人 3,674千円/月 利用料等 971千円/月
6	いさわ高齢者 複合施設 「じゅあんの園」	胆沢	居宅介護料 利用料	101,177 78,895 22,282	認知症対応型グループホームと認知症対応型デイサービスセンターの複合型施設の経営を行います。 *グループホーム/定員 18人(9×2棟) ぬくもりのある家庭的な雰囲気の中で、個々の利用者の個性を尊重し、安心して生活を送ることが出来るような環境作りに努めます。また、地域に根ざした施設として、地域住民との交流、外出を通し、社会との繋がりを大切にし、いきいきとした生活を送られるよう支援します。 *デイサービスセンター/定員 12人 一人ひとりの個性に合わせたサービスの提供を目指し、楽しむ、学ぶ、運動する、出かける等のメニューを組み入れ、認知症の進行を遅らせることができるよう支援します。また、認知症の進行に伴い、家族の不安に対し相談、援助を行い、在宅生活を継続できるよう支援します。居宅介護支援事業所との連携を図り、利用者の確保に力を入れていきます。	(グループホーム) 要介護 18人 4,328千円/月 利用料等 2,184千円/月 (デイサービス) 要介護 140件 1,547千円/月 利用料等 80千円/月 要支援 8件 171千円/月 利用料 11千円/月

7 介護予防活動の推進

No.	事項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	地域包括支援センター ランチ型運営事業	水沢	受託金	4,141	地域住民の身近な窓口として高齢者や介護家族等の相談に応じ、介護保険給付該当外の方が安心して地域生活を継続できるように関係機関と連携しながら	訪問相談 200件 介護予防教室 20回 家族介護教室 3回 認知症カフェ 2回

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
					ら支援します。また、在宅高齢者宅を訪問し日常生活や体調について調査活動を行います。	個別ケア会議10回
2	江刺高齢者生産活動センター	江刺	指定管理料 受託金	8,507 5,822 2,685	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を推進し、山村地域の振興を図ります。 *生産活動の場の提供/創作活動の場の提供/販路の拡大	平成30年度から平成34年度まで5年間 利用者延 1,400人 (200人減)
3	高齢者地域活動推進事業	江刺 前沢 胆沢	受託金 共募配分金	4,409 江刺 2,301 前沢 2,065 胆沢 43	高齢者の生きがいと社会参加を促進すると共に、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等に対し、施設を活用した活動の場を提供し、社会的孤立感の解消及び自立の支援を図ります。 *江刺「いきいき講座・同好会」 *前沢「趣味・創作活動」 *胆沢「べんてん広場」「みんなのたまり場」	(江刺) 講座(新規含む) 25回、450人/年 (50人増) 同好会 560回、7,200人/年 (100人増) (前沢) 新規講座 7講座、22回/年 同好会 4団体 (胆沢) 講座 毎月開設 2講座、12回/年 1講座、24回/年 3団体 展示 毎月開設

8 児童福祉事業の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	米里保育所の運営	江刺	補助金 運営費	29,237	保護者の仕事の都合などにより、家庭で子どもの保育ができない方の為に代わって保育をします。保育所保育指針に従って 日々安全に配慮しながら、心身共に健やかな成長と基本的な生活習慣の自立を援助します。 *定員 20人 *乳幼児保育/障がい児保育/一時的保育/子育て支援	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
2	放課後児童健全 育成事業 児童クラブ事業	水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川	指定管理料 委託料 利用料 手数料	257,031 水沢・ 江刺愛宕 169,562 前沢 31,852 胆沢笹森 11,050 南都田 8,783 胆沢 22,202 衣川 13,582	就労等により保護者が日中家庭にいない小学校に就学している児童を対象として、放課後児童クラブにおいて、児童の保育サービスを提供します。 また、小学校や地域と連携し、地域における児童の総合支援を行います。 (19 施設・29 クラブ) *水沢地域 8 小学校区・8 施設/定員 520 人 *江刺愛宕小学校区・1 施設/定員 65 人 *前沢地域 (新) 前沢小学校区・2 施設/定員 135 人 *胆沢地域 胆沢地域内 4 小学校区・2 施設 4 クラブ/定員 155 人 *衣川地域 2 小学校区・2 クラブ/定員 60 人	

9 収益事業

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	前沢バス運行事業	前沢	補助金 利用料	19,492	高齢者などの交通弱者を含めた前沢地域内の利用希望者を対象として、ドア・ツアードアの交通手段を確保し、外出しやすい環境を整備し、日常生活の利便性を図ります。また、奥州市および運行委員会と協議を進めて、より良いサービスの向上につなげていきます。 *前沢地域内のみ 大人 1 回 300 円/小学生 1 回 150 円/障がい手帳所持者・運転経歴証明書(交付日から 3 年まで) 提示は半額	利用者 13,450 人/年 (385 人減) 利用料 3,395 千円/年 (144 千円減)
2	販売機の設置事業	水沢 江刺	手数料収入	428	自動販売機の売上手数料の利益を福祉活動に役立てます。 *奥州市総合福祉センター/江刺総合コミュニティセンターに設置	